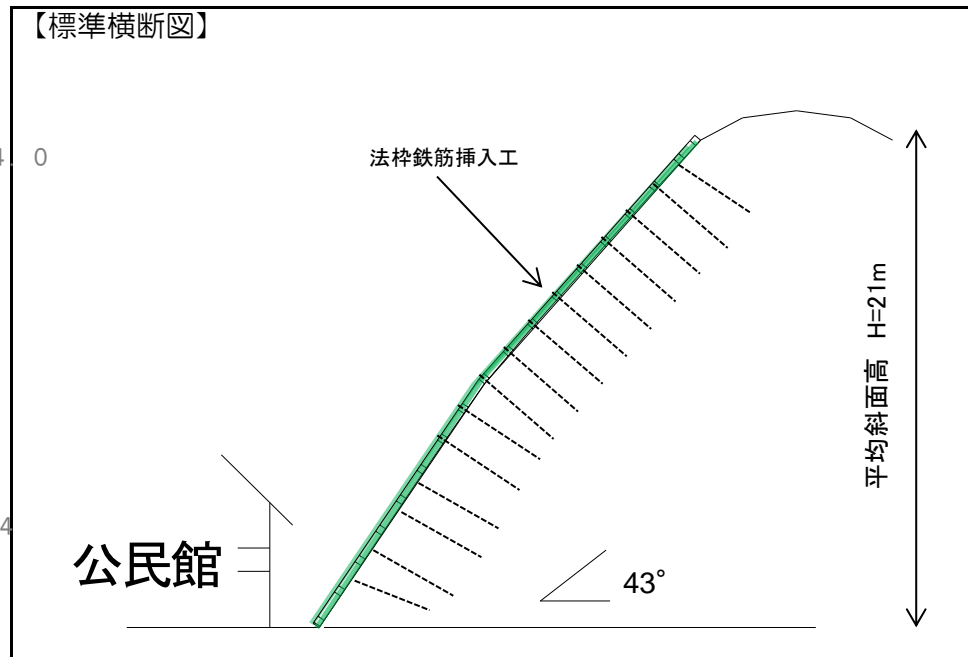
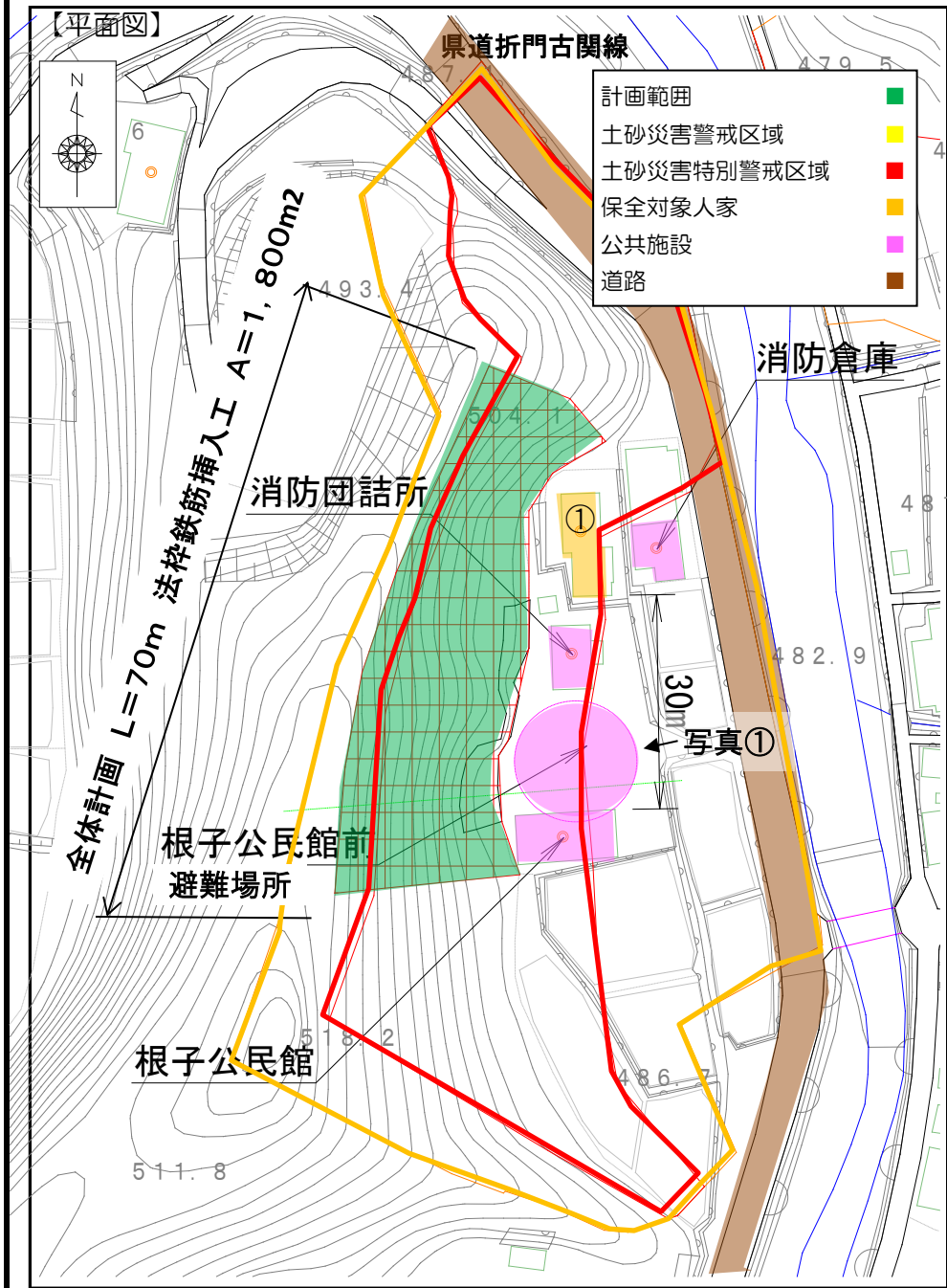


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	南巨摩郡身延町根子	<b>地区名</b>	根子の2 (ネッコノ二)	<b>事業主体</b>	山梨県																																							
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																										
<p><b>①課題・背景</b>                  根子の2地区は、山梨県南部の身延町に位置する急傾斜地であり、平成23年7月25日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。                  当該斜面は、平均斜面高21m、平均勾配43度の急傾斜地で、保全対象には、人家1戸、消防団詰所、根子公民館及び避難場所に指定されている根子公民館前、県道折門古関線があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があり、安全な避難場所を確保するため、事業の実施が急務である。</p> <p><b>②整備目標・効果</b>                  □主要目標 ○崖崩れ被害の防止                  ・災害実績：無                  ・保全対象：人家1戸、消防団詰所、公民館、避難場所 (根子公民館前)、県道L=70m                  ・重要公共施設の有無：有                  町地域防災計画で位置づけられた避難場所 (根子公民館前)                  合計1戸 5戸未満※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p><b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b>                  急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p><b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b>                  急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p><b>③経済妥当性</b>  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>120 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R8</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>109 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">280 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>109 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">32 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">204 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">44 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.6</td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b>  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>                  地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b>  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>                  地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p><b>⑥環境負荷等への配慮</b>  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>                  環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b>  <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>                  地元要望に基づいており、町から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	120 百万円	工期	R3~R8	基準年	R2	経済効率性	費用	109 百万円	便益	280 百万円		建設費	109 百万円	一般資産被害	32 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	204 百万円				人的被害	44 百万円					その他※	百万円		B/C			2.6		
総事業費	120 百万円	工期	R3~R8	基準年	R2																																									
経済効率性	費用	109 百万円	便益	280 百万円																																										
	建設費	109 百万円	一般資産被害	32 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	204 百万円																																										
			人的被害	44 百万円																																										
			その他※	百万円																																										
B/C			2.6																																											
<b>(2) 整備内容</b>				<b>総合評価</b>																																										
<p><b>①整備内容</b> 法枠鉄筋挿入工 A=1,800m<sup>2</sup></p> <p><b>②着手年度</b> 令和3年度                      <b>③完成見込年度</b> 令和8年度</p> <p><b>④総事業費</b> 約120百万円                  (国費:54百万円(4.5/10)、県費:54百万円(4.5/10)、その他:12百万円(1/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容 (事業費)</b></p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>法枠鉄筋挿入工</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>法枠鉄筋挿入工</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>法枠鉄筋挿入工</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>法枠鉄筋挿入工</td> <td>20 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				令和3年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和4年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円	令和5年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円	令和6年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円	令和7年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円	令和8年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円	<b>[貢献度ランク: b]</b>																								
令和3年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																												
令和4年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円																																												
令和5年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円																																												
令和6年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円																																												
令和7年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円																																												
令和8年度	法枠鉄筋挿入工	20 百万円																																												
<b>⑥既整備内容・期間・事業費</b>				<b>(4) 事業位置図等</b>																																										
未整備																																														

## 2. 添付資料シート



1 写真方向

